

# 川崎市公文書館だより

~Kawasaki City Archives News~



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

第37号 平成29年2月



## 新企画展開催中！！

現在、当館では、川崎市公文書館企画展示「あなたに伝えたい記録と記憶」の第3回：「川崎市域の「茶業」—明治期から現在まで—(前編)」を開催中です。開催期間は、平成29年1月4日から平成29年6月30日となっております。

当企画展では、川崎市域における「茶業」をテーマにしています。川崎市域では、茶の「流通」はおこなわれていますが、茶の「生産」はおこなわれていません。しかし、明治期から昭和中期までは、川崎市域の各所で茶の「生産」「流通」がおこなわれていました。これは、安政6年の横浜開港を機に茶が輸出されるようになり、今まで茶の「生産」が盛んでなかった地域でも茶が「生産」されるようになったことがきっかけになっています。このように、現在の状況からは想像ができないような川崎市域の歴史を当館所蔵の歴史的公文書、複製古文書から掘り起こし、市民や市外の方に知ってもらいたいと考え、前編では明治時代を、後編では大正時代から現在までの川崎市域でおこなわれていた「茶業」を紹介します。

当館までお越しの際は、是非ご観覧いただき、川崎市域の「茶業」の歴史をたどっていただければと思います。なお、「川崎市域の「茶業」—明治期から現在まで—(後編)」は、平成29年7月1日から開催する予定ですので、ご期待ください。

発行 川崎市公文書館

## 聞いて損はない!? 古文書のつづやき(最終回)

### ～有難き「仕合わせ」～

ご無沙汰しています、古文書でございます。

突然ですが、中島みゆきさんの『糸』という歌はご存知でしょうか。その歌詞の最後に「仕合わせ」という言葉があるのですが、実は古文書でもよく使われています。古文書講座でも質問の多い言葉の一つです。

現在では「幸せ」と表記するのが一般的ですが、なぜこう書かれていたのか。

今回はこの言葉についてつづやいていきます。

「しあわせ」は「為(し)合わす」という言葉が元とされています。

「し」は「為る(する)」という動詞の連用形です。「する」は何かしらの状況・状態になることを意味します。

この異なる状況である「する」が重なり「合い」、偶発的に良くも悪くも結果が出るのが「しあわす」でした。

ちなみに「仕」は「仕る(つかまつる)」で、「する」の謙譲語であることから、自然と当て字として用いられたと考えられます。

糸はあなた  
横の糸は私  
逢うべき糸に  
出逢えることを  
人は仕合わせと呼びます

ありがたきしあわせ  
ぞんじたてまつりそうろう  
難有仕合ニ奉存候

古文書では願書きや訴状で、もし自分の願いが通るのであれば、「有難き仕合わせ」としています。

相手に依頼するにあたり、もし叶ったならば、それは本来起こりえない出来事・結果である位、重要な願いであると言いたいのでしょう。

これを踏まえると『糸』の最後の歌詞は非常に深いものとなります。

縦の糸はあなた  
横の糸は私  
逢うべき糸に  
出逢えることを  
人は仕合わせと呼びます

2012年より連載してきました「古文書のつづやき」は本号を持って終了とさせていただきます。少々私は書庫でお休みさせていただきます。皆様に出逢えたこと、誠に有難き仕合わせでございました。また展示や講座等でお会いできる日を楽しみにしております。

では。(完)

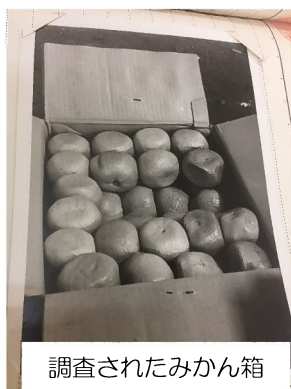


▲「乍恐以追訴御歎願奉申上候」  
(志村家文書60-9-68)より抜粋

## 歴史的公文書から「みかん事件関係綴」(歴史的公文書 B905 S42-1-13)

この歴史的公文書は昭和42年に川崎市中央市場(現在の南部市場)でおきた、みかんの盗難事件の顛末を記録した公文書です。

昭和42年1月に小売業者間で市場で取引するみかんの量目不足が問題となり、関係業者が市に調査を依頼したところから、記録は始まっています。市では関係者からの事情聴取や出荷元である山口県で調査したり、運送業者にも疑惑の目を向けるなど、広範囲に調査を行いました。また、開封された箱を再度留めた特殊なホッチキスや盗んだみかんを運ぶためのダンボール箱なども調べましたが、結局、捜査は警察の手に委ねられ、同年8月に市場内の青果会社社員が窃盗罪で書類送検されました。

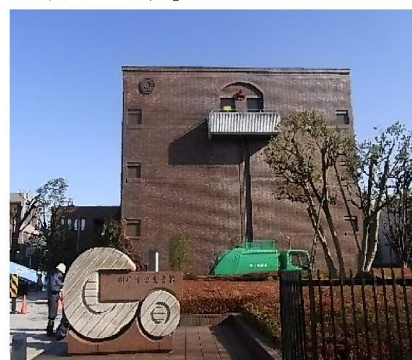
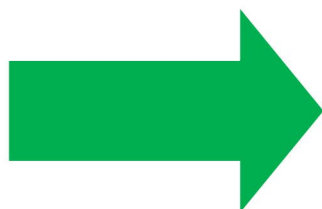


調査されたみかん箱

この簿冊には、市が事件を認識してから犯人が書類送検されるまでの記録がわかりやすく整理されて残されています。まだワープロなどはなく、すべて手書きで必要に応じて写真を張り付けながら、会議の記録、関係部署とのやり取りなどが克明に記録され、事件から50年が経過した現在でもその内容がよくわかります。同様の事件が再び起きないように後世の人に伝えるため、当時の職員が記録を確実に残した貴重な歴史的公文書といえましょう。

## ～ さよなら オオイタビ ～

公文書館は、平成29年1月から書庫棟の外壁補修工事中です。建築後30年以上経過した建物の外壁が剥落しないように補修する工事です。工事にあたっては壁面を覆っていた植物(オオイタビ)を外しました。オオイタビはクワ科の常緑つる性の植物で、茎から出る気根で固着しながら壁を這い上ります。オオイタビは、昭和59年の開館当初から植えられており、公文書館の目印として親しまれてきましたが、劣化した壁が落下するような事故がおきないように、安全確保のために必要な工事を行います。



# 平成28年度歴史講演会のお知らせ

公文書館では、川崎地域の歴史や文化に興味をお持ちの方を対象に、川崎の歴史について理解を深め、広く川崎に関心を持って頂くことを目的として歴史講演会を毎年開催しています。

今年度は、「小田急電鉄と川崎市の開発・発展～多摩区・麻生区を中心に～」と題して、3月5日（日）に中原図書館で、専修大学の永江雅和教授にご講演頂きます。

右のチラシが各区役所、図書館等に置いてあります。申し込みは2月10日（金）（当日消印有効）まで。

皆さまの応募をお待ちしております。



平成28年度 川崎市公文書館歴史講演会  
共催 川崎市教育委員会

## 小田急電鉄と川崎市の開発・発展

多摩区・麻生区を中心に

- ◆日時：平成29年3月5日（日）午後2時～4時
- ◆講師：永江 雅和 氏  
（専修大学経済学部教授）
- ◆会場：中原図書館6階多目的室  
川南駅前・緊急避難経路より徒歩1分
- ◆申込み方法：①住所はがきで住所・氏名・電話番号を明記し、下記申込み先まで。  
（メールでの返信も歓迎されます）  
②遊様公文書館1階受付で申込み返信用の普通はがきをお持ち下さい  
③公文書館メールアドレスに住所・氏名・電話番号その他「歴史講演会受講希望」と明記し返信
- ◆申込み期間：平成29年1月21日（土）～2月10日（金）
- ◆定員100名（定員を超えた場合は抽選） ◆受講料：500円  
※抽選の場合、受付住所を優先します。

【お問合せとお申込み先】川崎市公文書館（開館時間：8時30分～17時 ※月曜・祭日は休館）  
〒211-0051 川崎市中原区宮内4-1-1 TEL:044-733-3933 FAX:044-733-2400  
E-mail:17koubun@city.kawasaki.jp

## ～ 外壁補修工事のお知らせ ～

平成29年1月6日より3月24日まで公文書館書庫棟ほかの外壁補修工事が行われています。しばらくの間、皆様にご迷惑をおかけしますが、ご協力の程よろしくお願ひいたします。

### ◇開館時間

午前8時30分から午後5時まで

### ◇休館日

毎週月曜日

祝日法に定める休日（休日が月曜日に当たるときは火曜日も休館です。）

年末年始（12月29日から1月3日まで）

## 川崎市公文書館

〒211-0051 川崎市中原区宮内4-1-1

電話 044-733-3933

FAX 044-733-2400

E-mail 17koubun@city.kawasaki.jp

ホームページ <http://www.city.kawasaki.jp/shisetsu/category/19-4-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

